

エンジン共通説明書

おことわり

ご使用前に必ずお読みください。

エンジン取り付けの際には決められた工具を利用し、けがなどの防止策を行ったうえで適正に取り付けを行ってください。

エンジンの排気量によっては原付 2 種への変更や自動二輪免許の取得が必要になります。変更を怠った場合は運転者本人が罰せられることとなりますので、十分にご注意ください。

排気量が変わった場合は道路運送車両法の保安基準を満たし、自賠責保険などの排気量変更の手続きを行ってください。

この製品を使用して発生した不具合についてはどのようなことにつきましても一切の責任は負いかねます。

この製品を改造・加工した場合の不具合につきましては、一切の責任を負いかねます。

他社製品との適合につきましてはお答えできません。

エンジン交換につきましては、エンジン整備などの基本的な知識を持った方が対象となります。取り付け経験のない方や自信のない方などは、専門店などに取り付け・調整をご自身でご依頼ください。

エンジンの取り付けにつきましては一部ボルトやナットなどを再利用いたしますが、傷んでいるものや消耗しているものは必ず新品へ交換をして、取り付けを行ってください。

新品エンジンは慣らし運転が必ず必要です。慣らし運転はその後のエンジン寿命を大きく左右いたします。必ず慣らし運転を行うようにしてください。

* 慣らし運転

1000kmまでは過度に回転を上げないでください。低回転を維持することなく緩急つけた回転を心がけるようにしてください。

慣らし運転中はギアチェンジの際、しっかりとクラッチを握り確実にギアチェンジを行ってください。

急速なギアチェンジや半クラッチでのギアチェンジはギア抜けや入り変速不良の原因となります。

エンジンにはオイルを注入しておりますが、試験作動用となりますので、必ず交換をして走行してください。

オイルは 1000kmごともしくは 1 年で交換をしてください。

100%化学合成オイルは入れないでください。

注意

エンジンは冷えているときに作業を行ってください。エンジンの温度が高い場合に作業を行うとやけどや火災の原因となります。

作業を行う場合は作業に応じた工具や道具を使用し、確実に作業を行ってください。また、規定トルクがありますので、規定にあったトルクで確実に増し締めを行ってください。

交換時には突起物やバリ部などで負傷する可能性がございますので、保護具を装着して作業してください。

警告

作業を行う場合は安全を確保し、換気が良い場所で作業を行ってください。また、ガソリンやオイルなど可燃物に引火しないように十分に注意をして作業を行ってください。

走行中に異常が生じた場合は、直ちに運転を中止して点検を行ってください。

ネジなどのゆるみや異音・ガタツキなどがなくかを乗車前点検で確認を行い、破損個所が確認できた場合は走行を中止し、点検作業を行ってください。

損傷部品につきましては再利用をお止めください。